

2020年度 活動報告

●はじめに

コロナにはじまり、コロナが今も続いているという状態です。入学時期が3回目にして決まり9月入学となりました。2月末に安倍首相から全校一斉の休校要請があり、その後緊急事態宣言が出され止む無く休校措置をし、結果として大幅なずれ込みになりました。超高齢化社会は待ったなしです。コーダイの果たす役割は益々大きくなって来ます。

これからも大阪府民、日本のために活動を深めていきます。コーダイグループとして対処していきます。

With コロナでリモート時代を見つめつつ、コーダイ学習方式とのマッチングが重要になっています。

●基調報告

1. 入学式、ジョイフルゲームズ、コーダイフェスタのビッグイベントがコロナの影響で実施出来ませんでした。遠足、社会参加活動もなくなり、コーダイ活動方針にある仲間づくり、健康づくりへの踏み込みが十分でなかった事は残念で忸怩たる思いです。
2. 首相からの全国一斉の休校宣言があり、それ以降の行事、イベントは殆ど中止にしましたが、31回の講座は実施しました。1月になって再びコロナが拡大し、東京と3県が緊急事態宣言の発出となり、さらに大阪府をはじめとする感染拡大地域にも宣言を出すことになりました。その後3月8日まで延長されました。
3. 緊急事態宣言後のコーダイでは授業の継続いかんについて理事会で討議し、授業は継続し受講生との約束は守るとして今に至っています。全受講生に理事長名でコーダイ方針を明確に伝えました。
4. 全受講生に一律7,000円を支払いました。授業を受けている人、受けていない人に限らず、4月から7月までの授業ができなかった事、ビッグイベントができなかった事に対するものとして対処しました。大きな費用となり、結果的に大幅赤字を計上することになりました。
5. 国からコロナの助成金として持続化給付金200万円、家賃支援給付金258万円を受領しました。
6. 校友会も殆どの活動が中止になりました。修了後の活動の場として、各クラスへの訪問・PRの場も中止となり、チラシ配布で会員申し込みを受付ける形としました。
7. 東日本被災者復興支援活動はコロナ問題で頓挫し、南三陸町との交流は実現しませんでした。今後は10年間経過したので支援大学校の幕を下ろし、物産店等でお手伝いしたいと考えています。冬の音楽会も中止となりました。

8. 夏の「子どものための科学フェスティバル」が中止になったのは残念ですが、＜法円坂子どもプラザ＞（11月～2月）や春のフェスティバルは盛り上がりました。
9. クラブ活動もコロナ問題で中止しました。楽しみにされている関係者には申し訳ない思いです。
10. SA 認定証授与式は出来ないなので、直接渡すか、郵送するかの2方式で対応しました。
11. ファンド部では全理事が分担して、CD・クラス委員長の応援を得て前年より賛助金は増加しました。正会員合わせて受取会費は180万円です。企業へのPR活動が課題です。
12. 広報部では積極的活動を実施し、読売・産経新聞で特集を組んでももらいました。また、ABCラジオ、OBCラジオでもパブリシティ活動ができました。コロナの影響で新人受講者は減少していますが、必ず次につながってくると考えています。加えてオンラインに対応した活動が徐々に実りつつあります。オンラインサロンをつくりましたので、SNS時代に即応出来るようにしましょう。

●教育部門

2020年度はコロナ感染が日本中に拡散し、2度に亘って入学時期を延期しました。結果、本年度の開校は9月1日から3月末日の7ヶ月間と言う短期開講となりました。

コーダイの各種行事につきましては、コロナ感染拡大を防ぐため中止をする事といたしました。学習を最優先にしながら「コロナ感染防止」対策を徹底いたしました。

1. 年間を通しての学習回数については、カリキュラムで提示している31回については全て実施いたしました。
2. 教育部門が取組むべき課題を挙げての、教務委員会、曜日CD会議につきましては、行政からコロナに関する緊急事態宣言が発令されたので、12月以降の開催を中止いたしました。
3. 「コロナ感染防止」対策として、①ソーシャルディスタンスの確保②3密防止③換気等を進める為に新しい教室として本町教室・堂島教室・助産師会館教室・寺田町教室を新たに開講しました。
4. 上記も含めた全教室については、共通の対策・実施としまして①入室時の手消毒及び検温チェック②マスクの着用③入室後は私語を控える④随時の換気⑤昼食中は会話をしない⑥終了後は机・イスを消毒したのち教室を退出する事を徹底・実施しました。
5. CD及びスタッフとしての人材発掘・育成は年間を通じ教育部門独自で進める中、総合企画部門等からも協力を頂きました。
コロナの関係では、曜日クラス委員長会議が3回開催で終了した事もあり、67名の委員長の内2021年度CDは4名の採用に留まりました。
6. クラスミーティングの内容・進め方の見直しについては、本年度は緊急性のある事項のみ実施し、出来る限り短く・早く帰宅する事としました。

本テーマについては、2021年度から新しい展開と「クラス内での自主活動」として取組んでいきます。

尚、コーダイカフェにつきましては、2020年度実施を持って終了としました。

カフェの目的及び手法については、「自主活動」の中で生かして行きます。

7. コーダイの中核をなすCDに対する研修は、従前の1月～3月の新任CD研修会及び合同CD研修会を実施しました。更に、新任CDフォローアップ研修として1次研修・2次研修・3次研修と充実を図りました。

<本科教務部>

本科は昨年より1科減って52科目となりました。教育部門の課題対応を実施しました。結果につきましては前述の通りでした。

<SA 実践研究部>

実践研究部はSAを含めて15科目です。本科同様に教育部門の共通課題の対応を実施し、結果は前述の通りです。なお、2021年度は午後の自主活動については本科とSA実践研究部についても統一します。

<学習事業推進部>

2020年度はコロナ感染防止対策の為、全て中止しました。

<校友会連絡部>

2020年度はコロナ感染防止対策の為、全て中止しました。

<修了式>

昨年度に続き各科別の開催としました。コロナ禍での修了式開催となりましたが、受講生及びCDから工夫を頂き、記憶に残る式となるよう取り組みました。

<クラブ活動>

2020年度はコロナ感染防止の為、活動は全て中止しました。

●総合企画部門

<戦略部>

1. 生涯学習支援機関の情報交流の場である「関西及び首都圏シニアカレッジ交流会」は新型コロナウイルスにより、開催予定の「兵庫県生きがい創造協会（いなみ野学園）」が中止となりました。次回、引き続き兵庫県が開催予定です。
2. また、新型コロナウイルスにより、2020年度開講予定の有無や感染防止策などの状況・課題・対応策などの情報交換の為、初めて「大阪シニア大学校交流会」を6月17日に開催しました。
3. 大阪府が主催している「阪神奈大学校・研究機関生涯学習ネット（公開講座）」に参加をすべく申請していましたが、当該団体の総会（6月18日）にて参加が承認されました。今後、幅広い分野における講師交流等に取り組みたいと考えています。
4. 更に、規模・豊富な講師陣を有する「認定NPO法人かわさき市民アカデミー」との交流を深めることを目的にオンラインによる対談を実施する予定です。「オンライン講

座」に向けての課題・準備・今後の進め方等、意見交換をしました。

5. 「OKALS-V」(ボランティアに支えられたコーダイの高度学習システム)の浸透を図るため、コーダイ内はもとより、対外的にも周知しました。

<教科研究部>

1. “よく学びたい、楽しく学びたいという受講生のニーズ”に答えるよう、先駆的カリキュラムの構築と魅力的な講師の発掘に努めるよう、校外で開催される公開講座や種々の講演会等の参加を予定していましたが、コロナ禍によって中止され十分な活動ができませんでした。一方、大学や新聞社等の主催によるオンライン講座が実施され、従来受講できなかったテーマの聴講や魅力的な講師を知ることができたことは、今後の活動を行う上で役立つと考えています。
2. 教科研究部が主管して分野別分科会を開き、講座の課題等の把握に努めるとともに、それを踏まえて講座改革委員会を開催して建設的な議論や検討を行いました。科目のカリキュラムの見直しや内容の充実を図るよう運営を行ってきました。
3. 「提案制度」を通じて受講生や講師、講座改革委員会のメンバーから 10 数件新規講座や4件の公開講座等の提案がありました。講座改革委員会で審議した結果、新規講座として1科目、公開講座は2講座を実施しました。
4. 国の施策である働き方改革により高齢者の就労が増加する傾向があり、1年間の学び方の変化が出てきています。そのような状況への対応した学習システムの構築として、また、本科等にはない先駆的なテーマ、先端的な内容での‘短期講座’を5分野5講座開講します。新たな潜在需要の発掘と実験的な試みを狙いとして次年度実施します。
5. コーダイアンケートについては、従来の調査内容に現今のコロナ禍の影響によりコーダイが打った対策の評価、新たな学習システム導入、学習環境等の事項を加えて実施しました。現在、アンケート結果の集計と分析・考察を行っています。
‘ニューコーダイの創造に向けて’今後のコーダイの運営を考えるうえで重要な資料・データとして活用したいと考えています。

<Sプロジェクト>

サテライト構想の推進に向けて、各方面からの不動産に関する情報の収集や提供がありました。大阪市内の公共施設や民間ビルの物件情報がありましたが、コーダイ側、物件所有者側それぞれに課題があり、具体的な進展を図るには至りませんでした。

●事業部門

事業企画、BSC(ブライトシニアセンター)、事業開発3部門統合による新事業部としてスタートいたしましたが、8月までの休講、9月授業開始後のコロナ対策による活動制限に伴い、受講生を対象とした行事は殆ど中止のやむなきに至りました。

<事業企画>

養父市との学習事業連携協定が昨年11月に更新され、今後3年間の新たな発展へ向けた活動が始まりました。今年2月のオンライン会議において、校外学習の場の提供、お互いの行事への参加、養父市民講座との交流等を目的とした協議の継続を確認いたしました。

た。

大阪府の協力を得て実施しておりました救急救命・高齢者詐欺被害防止対策につきましては、出動不可とのことで次年度の復活を目指します。

例年多くの受講生がボランティアで参加される 2 回の大阪マラソンも直前に中止が決まりました。

<BSC>

シルバーアドバイザー養成講座 2019 年度受講生の大阪府の修了認定は、皆さんの貢献活動が困難であるため、従来の日程を繰り下げ本年 1 月に認定証が発行されました。

受講生の皆さんの地域貢献活動に対するコーダイの支援等ですが、これから活動される方、活動開始後間もない方への応援（DDS）については今期見送りとしました。

活動実績が豊富な方への表彰（KOUDAI AWARD 大賞）は例年通り実施いたしましたが、応募者の激減が今後の大きな課題となります。

<事業開発>

ワールドマスターズが来年 5 月の開催になり、養父市でのオリエンテーリングなどのゲームが行われます。コーダイから 20 名が登録し海外の参加者の通訳活動ボランティアに参加します。今年 5 月から訓練などが開始される予定です。

EXIT 社との間で観光通訳の活動を 2 年前から講習、登録活動を進めてきましたが事実上ストップです。現在 5 人の登録者が待機しています。

夏休み春休みを利用してのボイストレーニング、英会話短期講座は毎年好評でしたが、これらも中止です。

年末開催予定のクリスマスコンサートは、阿倍野区民小ホールで定員半数の 150 人分のチケットも完売し、準備を進めてきましたが、コロナ感染状況から断念せざるを得ませんでした。代金を全員に返却し次年度に期します。

●こども事業部門

1. <法円坂子どもプラザ>は 11 月～2 月まで、1 クラス 30 名規模で開催しました。
2. 「第 5 回大阪科学フェスティバル」は中止しました。
3. 「パソコンお絵かき教室」は中止しました。
4. <コロナ禍>ですが、周辺各地区での科学実験講座の開催に努力しました。

●情報管理部門

<教務事務部>

1. CD の交通費と講師の謝金管理システムの円滑な運営をしました。
2. 受講生台帳の集計管理と出席簿の学期単位のデータベース化、並びに修了証書の発行を行いました。

<システム部>

1. 募集データの集計システムを通して新受講生へ合格通知の発送、入金管理にて受講生を決定後、入学案内などを発送し、受講生名簿、名札など入学準備の体制づくりを行いました。

2. 受講生、講師、スタッフのデータベース化をして個人情報の管理運営に努めました。

<ホームページ部>

1. 動画活用など内容の充実とビジュアル化をし、告知・報告のスピードアップに努めました。
2. イベント情報をリアルタイムで更新しました。
3. メールマガジンを毎月発信して 700 人以上の読者登録がありました。
4. HP での募集要項、応募状況をリアルタイムに掲載発信し、HP から受講申込が 900 件以上ありました。

<コーダイネットワーク PJ>

コーダイ内外においてインフォメーションが迅速・正確に流れるようにし、オンラインを駆使した研修会・会議ができるように体制を整備しました。

●広報部・ファンド部門

<広報誌>

広報誌「れいんぼー」

- ・年 2 回発行（2020 年 9 月<新受講生入学記念号として> 2021 年 1 月）
- ・広告掲載の促進（阪南ビジネス<9 月号>、三井住友海上<1 月号>）
- ・掲載記事の受講生との協働促進
（クラス訪問インタビュー、新 CD 紹介、ボランティア活動など）
- ・基本ページ数を 16 ページとする（印刷代削減）
- ・新規掲載記事の構築 ①思い出の一枚 ②校友会活動報告をシリーズ化
- ・新広報誌編集員 1 名獲得（2021 年 4 月号より参加）

※2020 年度はコロナ禍のため 9 月開講となり、年 2 回の発行となりました。

<パブリシティ>

コロナ禍の中、ほとんどの行事が中止になり、開催されても入場制限がかかり、プレスリリースの発信は低調に終わりました。

そのような中で、メディア等のつながりを強化し、コーダイ生のラジオ出演、新聞掲載、ホームページへの出演 or 掲載予告等、地道な活動により、コーダイの知名度アップにつながりました。

<企業対応>

全般的に企業訪問がマンネリ化したが、コーダイの知名度が徐々に挙がってきました。協賛要請に対し企業格差が明確になったが、要請企業へのコーダイとしての見返りがなく、関係が深まりませんでした。

<ファンド部>

正会員、賛助会員の募集を通じてコーダイの社会活動の周知をしました。

●総務部門

2020年度は講座67科目を8会場(教育会館、福社会館、住之江公園、助産師会館、寺田町教室、本町教室、堂島教室、なにわのみやホテル)にて、「密閉・密集・密接」の3密の解消を念頭に置いて、教室を選定いたしました。

中には年間を通して同じ教室等を使用できないクラスもあり、ご不便をおかけしました。授業開始時には安全・安心を最優先に考え、コロナ感染予防対策を実施しました。新型コロナに罹患された受講生の方々とご家族に対し心からお見舞い申し上げ、一日も早い回復をお祈りいたします

また、全受講生に一律7,000円の返金をさせていただきました。

<経理部>

今年度は新型コロナ禍の影響で緊急事態宣言下に新学期を迎えました。

ソーシャルディスタンス確保の為に教室借用料金の増大、非接触型体温計、フェースシールド、消毒液等コロナ対策費の物品購入も増大し、大幅な減収減益となり開校以来、初めて当期経常増減額は大幅な赤字決算となりました。

赤字分については、前期繰越正味財産から補填いたしました。

また、休校(休講)期間に実施できなかったイベントなどの受講料について、一部返金させていただきました。

なお、返金作業は全受講生2,872名に一律7,000円を2020年12月から行い、完了しました。

<事務局>

新型コロナ感染症対策に終始した一年となりました。

授業再開の条件として下記の取組を行いました。

1. ソーシャルディスタンスを取る為、座席の前後左右1mの距離が取れる教室の供給に努めましたが、1教室において左右が取れない為、その教室は間にアクリル板を置いた対策
2. 検温、消毒液、マスク、フェースマスク、ウェットティッシュ、ペーパータオル、ゴミ袋等感染防止用品の手配
3. 受講生に食事時のルール、登下校時の注意事項の徹底のお願い
4. 新型コロナに感染された時の対応策と対応組織の設置

受講生、CD、スタッフの方々の細心の注意と努力のお陰で、9月開校以降、緊急事態制限下も含めて授業を続けられました。

●募集委員会

コロナ禍による厳しい状況のもと令和2年4月17日に第1回をはじめに、本年3月23日まで14回(うち一回は中止)開催をしました。「2021年度受講生募集」に係る募集要項を策定し当初、募集開始日を令和2年10月1日、締切りを12月6日

午後3時までとしましたが、コロナの影響から12月1日の開始、令和3年1月20日の締切りとしました。開講講座について講座改革委員会で各科目の課題を抽出し、多角的に検討をしました。新しい講座の開設や休講科目、科名変更、開講曜日移動等を行いました。高齢化が進む中、高齢者が70歳近くまで働くという背景がありますが、学びに対する高いニーズや、1年間通してコーダイで学ぶことができない方などへの対応、また、新たな学びの需要層を開拓することを狙いとした「短期講座」の開講について検討を行いました。

募集人数については、コロナ感染対策上ソーシャルディスタンスを確保するために大阪市教育会館のみでは困難な為、周辺の他の施設も使用せざるを得なく、併せて教室の収容人数も50%近い制限でなければいけないという条件により、昨年度より総数を約20%強の縮減をして設定しました。

募集の基本は従来通りで、次のとおりです。

*コーダイを初めて受講される「優先入学制度」を訴求して、新規入学者の勧奨に努めました。

*年齢・居住地に関わらず制限なく自由に受講していただけるようにしました。

以下に主たる募集活動の内容を列記いたします。

1. 2021年度は本科48科目、SA養成講座3科目、実践科12科目、合計63科目、内、名称変更1科目、2,308名強の応募計画を立てました。新科目として「武家政権700年・合戦史科」を開講します。従来継続受講はSA・実践科に限定していましたが、本科を含めすべての科目が可能となるようにしました。
2. 5分野に亘る短期講座(9回~15回/講座)を開講します。先着順での受付を行いました。6日間で5講座が満員になりました。ニーズの高さを感じました。
3. 募集案内書(28頁)を3万部作成しました。受講生に2部、電話などでの問合せに対して郵送しました。校友会を中心としたコーダイグループや他団体にも配布し、新人獲得のための勧誘活動をお願いしました。
4. 大阪府内の市町村、並びに大阪市各区役所へは逡送便にて、また、堺市各区役所などの公共施設などへ配架・配布を依頼しました。大阪市サービスカウンター(3ヶ所)、地下鉄ラック(5ヶ所)、大阪市立生涯学習センター(3ヶ所)等にも配架をしました。
5. 受講生募集の広報として、大阪府からのプレスリリース、大阪府政だより、府内各市町村広報誌、大阪市・堺市の各区役所の広報誌への掲載を依頼しました。いずみ市民生協の広報誌に初めて掲載されました。更に、大阪市立総合生涯学習センター発行の「いちよう並木」10月号、11月号、朝日・読売新聞大阪版に受講生募集やオープンキャンパス、講座説明会開催の広告をしました。NHKラジオに依頼して「受講生募集のお知らせ」としてアナウンスして頂き、その反響での問い合わせや募集案内書の請求等があり、対応をしました。
6. 応募者のコーダイの講義がどのようなものなのかを知りたいというニーズに対応して、オープンキャンパスを2日間開催しました。コロナ禍での3密回避をするため、事前申し込み制をとったこともあり、参加者は例年に比べて大幅に減少しました。

7. 講座説明会は本年度は延べ 11 回、大阪市教育会館、大阪市北区梅田、豊中、吹田、東大阪、枚方、堺の 7 会場で実施しました。コロナ禍での 3 密回避の為、事前申し込み制をとりました。そのため昨年と比べて 30%減の参加でしたが、申し込み率は昨年より向上しました。
8. コーダイホームページによりコーダイ検索の閲覧数も伸びています。ホームページでコーダイを知った方、及び知人を通じて知った方の合計が 50%以上ありました。Webからの申し込みも漸増傾向にあり、今後は更に伸びるものと思われます。
9. 活動の結果として受講生数 2,254 名、新人 502 名、男女比 44.4%:55.6%、平均年齢 71.3 歳でした。コロナ禍という厳しい状況下が 1 年以上続きました。募集活動も思うように進みませんでした。事務所スタッフ、CD の皆で協力して、目標に近い受講生を迎えることができましたと考えております。

●コーダイ・なにわの宮会

新型コロナの感染が世界中を震撼させている中で、今年はずなにわの宮会が計画していた楽しいイベント・行事の全てを中止せざるを得ませんでした。しかし、コロナ禍で不安な毎日、11 月 7 日には大阪府立大学大学院教授・山崎伸二先生をお迎えして「感染症の脅威にいかにかに備えるか」のシンポジウムを開催いたしました。今回、対面講演とオンライン講座でも参加して頂き、有意義なシンポジウムを開催する事が出来ました。10 月からは「理事長と語ろう・教室訪問」を開始して、コーダイの基本理念・指針であります OKALS-V を受講生に理解して頂き、浸透すべく説明をして頂きました。また、理事長と膝を交えて皆さんのご意見・ご要望をお伺いし即答をして頂く場として、大変意義深いものがありました。

学校のコロナ対策に関する好意的なご意見、来期の受講に関するご意見・ご要望、エアコンが効きにくい等の設備関係の改善要望もありましたが、迅速な対応をして頂く事が出来ました。

一方、レインボーの誌上交流の場としまして川柳の募集をいたしました。

毎回 80~90 句近く、奇想天外なユーモアあふれる作品を応募して頂き、学年末には川柳大賞を発表し、記念品の楯を贈呈いたしました。

●大阪万博プロジェクト実行委員会

(公財)2025 日本国際博覧会協会は、昨年 12 月 5 日に基本計画を策定しました。開催に向けて、運営・輸送・建設・資金計画などを取りまとめ開催に向けた準備を進めています。昨年 8 月 25 日には博覧会のイメージを高めるロゴマークを決めました。今後は企業・団体の参加や会場の運営参加などの活動を本格化させることになっています。実行委員会としては、博覧会協会の動きや情報収集に注力しましたが、特に現状では働きかけなどは実施していません。

●NPO法人大阪区民・大阪府民カレッジ

1. 2020年度、地域密着型カレッジ、大阪区民カレッジは計7校、受講生281名、大阪府民カレッジは高槻・北摂校を開校し計10校、受講生406名を受け入れ合計17校：受講生687名となりました。
2. コロナ禍中「感染源、感染経路を断つ」に徹し、開校は9月からとしました。広い教室への変更、カリキュラムの組み換えなど実施し、戸惑いやご不便をかけたが各方面からのご協力を頂き滞りなく修了しました。
3. 1学期10講座が実施できませんでしたので、5,000円を返却しました。
4. 一堂に会する密を避け、入学式、修了式とも各校別となり、合同行事も中止し、カレッジの一体感が損なわれたのが心残りでした。